

JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 I

Language and Cultural Competence 分野

「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の英語部門、Language and Cultural Competence Test の模擬問題を出題します。

問題は、「Ⅰ 英日翻訳」、「Ⅱ 日英翻訳」、「Ⅲ 英文リライト」に分かれています。

1問を約30秒で解答することを目指して取り組んでください。なお、問題の右側に「解答のヒント」を示してあります。まずはヒントを見ないで取りかかりましょう。解答できない場合にはヒントを参考にしてください。[解答] は最後に記載します。

「JTA 公認翻訳専門職資格試験」出題概要

	Competence	要求 Skill	細目	
STEP0	Ⅰ Language and Cultural	原文読解力	・ 語句の理解 ・ 背景知識	・ 文法 / 構文
		変換技法	・ 訳出の過不足	
		表現技法	・ 自然 / 適切な表現	
STEP1	Ⅱ Expert	専門理解力 専門表現力	・ 文体把握 / 表現 ・ 文種把握 / 表現	・ ターミノロジー
		要約力	要約文	
STEP2	Ⅲ IT	PC 操作力	・ PC 基礎知識 (OS、ネットワーク、アプリケーション)	・ ワードプロ操作 (MS-WORD)
		エディティング	・ 辞書作成	・ 検索 / 置換
		サーチ力	・ インターネット検索	
STEP3	Ⅳ Manegerial	コードオブ・コンダクト & コンプライアンス	秘密保持、自己実施責任、名誉毀損、著作権など	
		プロダクション	品質水準、協働翻訳、翻訳周辺サービスなど	
STEP4		マーケティング	見積り、翻訳契約、原文の誤りの処理など	

[問題 1] 英日翻訳

次の英文にもっともふさわしい自然な日本語文を選択しなさい。

(1) Three and half hours after his arrival in Paris, Andre entered the Ambassador's office in the American Embassy.

- ① アンドレは到着から 3 時間半後、パリにあるアメリカ大使館内の大使のオフィスに入った。
- ② アンドレはパリに到着してから 3 時間半後に、アメリカ大使館にある大使のオフィスに入った。
- ③ アンドレはパリに到着してから 3 時間半の間、アメリカ大使館にある大使のオフィスに入っていた。
- ④ パリにおける彼の到着から 3 時間半後、アンドレはアメリカ大使館内の大使のオフィスに入った。

(2) She walked on, and it was not until they were under the walls that she recovered and was able to speak.

- ① 彼女は歩き続けた。一行は壁の下に到着しなかったが、彼女は落ち着き、話すことができた。

[解答のヒント]

(1) his arrival の訳し方に気をつけます。代名詞 his と arrival の関係を考えます。

(2) 強調構文 it was ～ that と接続詞 until の処理に気を配ります。

	問題形式	J / E	問題数	試験時間	分野
	・短文翻訳 (四肢選択)	EJ	150 問	90 分	分野共通
	・短文翻訳 (四肢選択)	JE	60 問		
	・リライト (四肢選択)	EE	60 問		
	・長文部分翻訳	EJ	3 問	90 分	①フィクション ②ノンフィクション ③ IR/ 金融 ④リーガル ⑤医療 / 薬学 ⑥特許 ⑦アニュアル
	・長文部分翻訳	JE	2 問		
	・要約	EJ	1 問		
	・作業	J / E	2 問	60 分	分野共通
	・手順説明	J / E	3 問		
	・四肢選択	J / E	30 問		
	・四肢選択	J / E	30 問	30 分	分野共通

- ②彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着するまで、彼女は落ち着いて話すことができなかったのだ。
- ③彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着してようやく彼女は落ち着き、話すことができた。
- ④彼女は歩き続けた。一行が壁の下に到着してもまだ、彼女は落ち着いて話すことができなかった。

(3)Smiley had no difficulty in finding a first-class compartment to himself.

- ①スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのは難しくなかった。
- ②スマイリーは、自分ひとりが一等のコンパートメントを見つけるのに異議を唱えた。
- ③スマイリーは、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのにまったく困難があった。
- ④スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるという困難がなかった。

(4) The prime shopping population is aging, with less time and less money than most of their parents had.

- ①主な購買層が高齢化してしまうのは、彼らの親たちに比べて時間もお金も少なくとも同じだ。
- ②主な購買層は高齢化しつつある。そして彼らの親たちに比べてより少ない時間とお金が残っているのだ。
- ③主な購買層が高齢化しつつあるのは、彼らの親たちに比べて時間もお金も少ないためだ。
- ④主な購買層は高齢化しつつある。そして彼らの親たちの大抵が持っていたほど時間やお金を持ってはいない。

(5) The matchbox fell from Anthony's hand, but his amazement was fully equaled by that of Battle.

- ①マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルのマッチ箱にもまったく同じように驚いた。
- ②マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはすっかり驚いてしまった。

[解答のヒント]

(3) 名詞の前にある no をどのように訳すと自然な文章になるでしょうか。

(4) 比較級を用いた表現 less time や less money を自然な言い方にします。また文末に省略されている語を補って考えます。

(5) 無生物主語、受動態の処理が大切です。また代名詞 that の指す内容を考えましょう。

- ③マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーの驚愕はバトルのそれとまったく等しかった。
- ④マッチ箱がアンソニーの手から落ちた。しかしアンソニーはバトルとまったく同じように驚いた。

【問題 2】 日英翻訳

次の日本語文に対応する、できるだけ簡潔で分かりやすい英文を選択しなさい。

(1) ここの気候は、イギリスの気候にそっくりだ。

- ① The climate here is just like the climate of England.
- ② We have the same climate here in England.
- ③ Here the climate is like to England.
- ④ The climate here is just like that of England.

(1) 英文では同じ名詞の繰り返しは避け、代名詞を用います。

(2) 籠には卵がほとんどない。

- ① There are a few eggs in the basket.
- ② Only some eggs are in the basket.
- ③ There are few eggs in the basket.
- ④ There are little eggs in the basket.

(2) 量を表す肯定的表現と否定的表現を正しく使われます。

(3) 普通の人だったら、あんなことはしなかったはずだ。

- ① If you have been an ordinary person, you should not behave like that.
- ② An ordinary person would not have behaved like that.
- ③ An ordinary person did not behave like that.
- ④ If you had been an ordinary person, you would not behave like that.

(3) 英文では主語に仮定の意味を含めることができます。

【問題 3】 英文リライト

次の英文を分かりやすく適切な形に書きなおしたものを選択しなさい。

(1) I think your proposal is worth considering, please write it up in detail.

- ① Your proposal is worth considering, please write it up in detail.

- ② Your proposal is considering, so please write it up in detail.
 ③ To consider your proposal, you need to write it up in detail.
 ④ I think your proposal is worthy to be considered, please write it up in detail.

(2) Please return the complete questionnaire to I or Mr. Matsumoto.

- ① Please return the complete questionnaire to either I or Mr. Matsumoto.
 ② Please return the complete questionnaire to him or Mr. Matsumoto.
 ③ Please return the complete questionnaire to myself or Mr. Matsumoto.
 ④ Please return the complete questionnaire to me or Mr. Matsumoto.

(3) We are not unopposed to a merger, but we need more time to study our options.

- ① A merger can't be accepted, but we need more time to study our options.
 ② We are opposed to a merger, but we need more time to study our options.
 ③ A merger might be a possibility, but we need more time to study our options.
 ④ We are not unopposed to a merger, but we must study our options till tomorrow.

[解答のヒント]

(1) 曖昧さをなくし、具体的な事実を述べるために、不要な記述は省きます。

(2) 人称代名詞は置かれた場所に応じた正しい形を用います。

(3) 二重否定はできるだけ避け、誤解の生じないように気をつけます。

[解答]

各問題の解答は以下のとおりです。

I 日英翻訳

(1) ②、(2) ③、(3) ①、(4) ④、(5) ④

II 英日翻訳

(1) ④、(2) ③、(3) ②

III 英文リライト

(1) ①、(2) ④、(3) ③

JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 Ⅱ

IT Competence 分野

問題は、コンピュータ関連の基礎知識を4肢択1で答える【問題1】と、MS-Wordの操作手順を記述する【問題2】～【問題4】、そして実技試験の【問題5】に分かれています。

【問題1】

4つの選択肢の中から正しい答えを1つ選択しなさい。

1. 以下の機能で Operating System (OS) にはないものはどれか

- a) 入出力機能
- b) ファイル管理機能
- c) メモリー管理機能
- d) データベース機能

2. CドライブのファイルをDドライブにドラッグ&ドロップするとどうなるか

- a) ファイルがDドライブに移動する
- b) ファイルがDドライブにコピーされる
- c) ファイルが削除される
- d) ファイルがゴミ箱に入る

3. 複数のアプリケーションを起動している場合、[Alt]キーと以下のどのキーを同時に押せばウインドウを切り替えることができるか

- a) [Shift] キー
- b) [Ctrl] キー
- c) [Tab] キー
- d) [Backspace] キー

4. 設定を行う際に必要な項目を画面の質問に対話形式で指定していく機能は以下のうちのどれか

- a) コンフィギュレーション
- b) マルチウインドウ
- c) ウィザード
- d) アバター

5. インターネットと関係のない用語はどれか

- a) プロトコル
- b) XML
- c) ハイパーテキスト
- d) レイヤースタイル

<解答>

1.d) 2.b) 3.c) 4.c) 5.d)

【問題 2】

MS-Word2003 に関する問題です。答えを解答提出フォームに記入してください。

指定した人だけが参照できるように、作成したドキュメントにパスワードを設定する方法を説明してください。

<解答>

- (1) メニューバー「ツール」→「オプション」をクリックする
- (2) 「オプション」ダイアログが開いたら、「セキュリティ」タブをクリックする
- (3) この文書のファイル暗号化オプションの読み取りパスワード欄にパスワードを入力する
- (4) 「OK」をクリックする

(【問題 3】～【問題 4】は【問題 2】と同様のため省略)

【問題 5】<実技試験>

実技試験では、圧縮された問題ファイルをダウンロードして解凍し、課題指示に従って作業を行い、再度圧縮して提出します。

ファイル No.1 には次のような対訳（上が日本語、下が英語）が書かれています。

これを上が英語、下が日本語になるように変更してください。

ファイルの最後に、どのような手順で行ったか説明してください。

<日>銅価格は過去 1 週間で 15 セント以上も上昇した。

<英> Copper prices have risen over 15 cents per lb in the past week.

このように変更する↓

<英> Copper prices have risen over 15 cents per lb in the past week.

<日>銅価格は過去 1 週間で 15 セント以上も上昇した。

<手順説明の解答例>

Word のワイルドカード検索置換を使用。検索文字列は以下の通り。

検索する文字列： (<日>^13)(<英>^13

置換後の文字列： \2^13\1

JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 Ⅲ

Managerial Competence 分野

CPT マネージリアル・コンピテンスの模擬問題を出題します。実際の試験では、翻訳マネジメントに関する問題を30分で30問回答することになっていますから1問を約1分で解答することになります。全問、日本語による四肢選択問題です。易しい問題ですからヒントはつけませんが、インターネットの検索エンジンで翻訳会社のホームページなどを見ますと参考になる知識が得られましょう。

問題

1. 翻訳料金について述べた次の文の中で正しくないものを選びなさい。

- ①文芸翻訳においては、出版社が翻訳者に印税を支払うが、通常、小売定価に印刷部数をかけた額の5～10パーセントが翻訳印税として支払われる。
- ②ターゲット言語を日本語とする実務翻訳においては翻訳者が翻訳・納品した電子データ原稿の総文字数に1字当たり5円で計算した翻訳料金が東京では一般的である。
- ③ターゲット言語を日本語とする実務翻訳においては翻訳者が依頼者より受領する電子データ原稿の総ワード数に1ワード当たり15円から25円で計算した翻訳料金が東京では一般的である。
- ④字幕翻訳においては翻訳された日本語字幕の1語当たり45円が翻訳料金の一般的な計算基準である。

2. 翻訳者の守るべき倫理について述べた次の文について正しいものを選びなさい。

- ①翻訳者は、依頼者から依頼された原稿及び翻訳サービスについて秘密を守らなければならない。
- ②翻訳者は、常に、原文（ソース言語）に言語的に忠実に翻訳しなければならない。
- ③翻訳者は、翻訳著作権にもとづき翻訳した成果物を自由に公表・利用できる。
- ④翻訳者は、引受けた翻訳につき、自ら翻訳することができないときは自らの裁量でこれを他の翻訳者に翻訳させることができる。

3. 日英の実務翻訳で顧客から受領した日本語の原文に誤りがあった場合翻訳者がとるべき態度についての次の文につき正しいものを選びなさい。

- ①顧客の面子をつぶさないよう原文通り翻訳して納品する。
- ②誤りではないかと思う旨を指摘して顧客の指示を待つ。
- ③誤りと思われる箇所を正しく訂正して翻訳して納品する。
- ④誤りと思われる箇所につきそのままの訳と正しく修正した訳を並記し、訳注にその旨を記して納品する。

4. 出版翻訳において数人が共同で翻訳を行った場合において、その原文の中に他人を誹謗し名誉毀損となり得るような部分があった。これは自分が翻訳を担当する部分ではない。この場合貴方が留意すべき事項を示した次の文において誤っているものを示しなさい。

- ①名誉毀損の訴訟が起されたとしても損害賠償責任を問われるのは出版社であるから、翻訳者は関係ない。翻訳者は原文通り翻訳すればよい。
- ②共同翻訳で自分は担当した部分でないところが問題の箇所であれば自分に責任はないから放置しておけばよい。
- ③そもそも名誉毀損になるような記述は原著者が書いたのであるから原著者が責任をとれば良いことで、翻訳者には一切関係ない。
- ④出版社に対して問題の箇所を指摘して注意を喚起すると共に、自らは知り合いの弁護士に訴訟が提起されるかどうかの確率とその場合の対処策について相談しておく。

5. はじめての顧客から翻訳の受注をするのに際して翻訳物の品質の保証を書面で求められたが、どのような文案としたらよいかにつき、次の文の中から適切でないものを一つ選びなさい。

- ①納入する翻訳物は「翻訳英文法」として翻訳業界に良く知られている翻訳ルールにもとづくものであり、また、常用漢字・送り仮名・句読点法は内閣告示によるルールに従っているものであることを記述する。
- ②納入する翻訳物は、予め顧客に提出した又は顧客から示されたサンプル訳と同様の水準であることを記述する。
- ③納入する翻訳物は、顧客が読んで合格する水準のものとし、不合格の翻訳については顧客より差し戻しを受けて再度翻訳し、合格するまでこれを続ける旨を記述する。
- ④納入した翻訳物に顧客が満足しない場合は、契約をキャンセルし翻訳代金を受領しない旨を記述する。

<解答>

- 問題 1. ④
- 問題 2. ①
- 問題 3. ④
- 問題 4. ④
- 問題 5. ③



JTA公認翻訳専門職資格〔CPT〕試験

模 擬 問 題 IV

Expert Competence 部門 リーガル分野例

今回の出題は、法域という観点に立てば、多義に渡る法律知識を基礎とした翻訳家としての表出力を問うものではありません。しかし、翻訳力という観点から、「翻訳の精度」「制限時間内に最低限のタスクをこなし、得点を確保する事務管理能力と翻訳スピード」「前設問中の法的場面を効率的に日英翻訳に転用する能力」「論旨を日本としての確に纏め上げる要約力」等、多義に渡る能力を問う出題となっています。とりわけ、設問 III は、時間設定に比例して分量も多く、翻訳者としてのマネジメント力を試される出題となっています。設問に書かれた事件名等をヒントとして、種々の情報収集手段を活用し、内容の把握に努め、貴方の日本語要約に反映させることが出来れば、翻訳実務家としての貴方の能力の高さの証明になります。では、これから、貴方のその高い能力を遺憾なく発揮してください。

〔問題 1〕 英日翻訳

以下は、賃貸借契約書条文からの抜粋です。制限時間内に全ての条文を訳出することが望まれますが、二つの条文を訳せばこの設問におけるタスクは及第となります。各条文の配点と時間制限を考慮した上で、自己にあった選択をし、訳出してください。

POSSESSION.

Landlord will make a good faith effort to make the Leased Unit available to Tenant on the day this Lease is scheduled to begin. If any delay does occur, no rent is due until the Leased Unit is available to Tenant.

Tenant can end this Lease by written notice to Landlord by certified mail, return receipt requested, if the Leased Unit is not available within 10 days after the Lease beginning date. Tenant's only remedy is to end the Lease. Landlord is not responsible for any inconvenience, loss or damage if there is any delay in making the Leased Unit available to Tenant.

If Landlord cannot provide the Leased Unit as promised, Tenant's security deposit will be returned 7 days after the date Landlord is unable to deliver possession.

CONDITION OF LEASED UNIT; REPAIR OF DAMAGE.

Tenant agrees to maintain the Leased Unit during the term of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of the Lease.

STEP0

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

Tenant agrees to pay as additional rent the cost of the repair of damage caused by Tenant or other permitted occupants or visitors of Tenant. Only Landlord's employees, agents or contractors may make repairs to the Leased Unit.

Tenant agrees to return the Leased Unit to Landlord at the end of this Lease in the same condition as it was on the beginning date of this Lease.

Tenant will promptly notify Landlord in writing if the leased Unit is damaged or repairs are required. Landlord agrees to perform necessary repairs with reasonable promptness after receiving written notice from Tenant.

Landlord is not responsible for any inconvenience or loss caused by necessary repairs to the Leased Unit, the building, appliances and any other equipment.

CONDEMNATION.

Condemnation is the power of the government to take private property for public use. If the Leased Unit or any part of it is condemned, or voluntarily transferred by condemnation proceedings, this Lease will automatically end as to the condemned portion.

If the Lease ends due to condemnation of a part of the Leased Unit, Landlord will reduce the rent accordingly.

If the Leased Unit becomes uninhabitable due to the condemnation, the Lease will end when Tenant pays all rent due until the condemnation date. Tenant will not have any right to any award paid to Landlord by the condemning authority.

[問題 2] 日英翻訳

以下は、設問 I に関連し、賃貸借契約時に支払った保証金の返還に関する日本語の通知書の一部です。英訳してください。配点は、10 点です。

課題：

当方が預かった保証金は、\$300 です。貴方が当該賃貸借契約に明記されたとおりに、適切に清掃を行い、汚れ、傷みのない状態で部屋を明け渡してくださるならば、当方がお預かりした保証金を速やかに返還いたします。

[問題 3] 英文の要約

以下は、日本民法典第 416 条に大きな影響を与えたイギリスの判例 (HADLEY v. BAXENDALE) で、損害賠償の範囲確定についての法理を導き出した判例として有名です。裁判所の論旨を要約してください。

Now we think the proper rule in such a case as the present is this: Where two parties have made a

contract which one of them has broken, the damages which the other party ought to receive in respect of such breach of contract should be such as may fairly and reasonably be considered either arising naturally, i.e., according to the usual course of things, from such breach of contract itself, or such as may reasonably be supposed to have been in the contemplation of both parties, at the time they made the contract, as the probable result of the breach of it. Now, if the special circumstances under which the contract was actually made were communicated by the plaintiffs to the defendants, and thus known to both parties, the damages resulting from the breach of such a contract, which they would reasonably contemplate, would be the amount of injury which would ordinarily follow from a breach of contract under these special circumstances so known and communicated. But, on the other hand, if these special circumstances were wholly unknown to the party breaking the contract, he, at the most, could only be supposed to have had in his contemplation the amount of injury which would arise generally, and in the great multitude of cases not affected by any special circumstances, from such a breach of contract. For, had the special circumstances been known, the parties might have specially provided for the breach of contract by special terms as to the damages in that case; and of this advantage it would be very unjust to deprive them... Now, in the present case, if we are to apply the principles above laid down, we find that the only circumstances here communicated by the plaintiffs to the defendants at the time the contract was made, were, that the article to be carried was the broken shaft of a mill, and that the plaintiffs were the millers of that mill. But how do these circumstances show reasonably that the profits of the mill must be stopped by an unreasonable delay in the delivery of the broken shaft by the carrier to the third person? Suppose the plaintiffs had another shaft in their possession put up or putting up at the time, and that they only wished to send back the broken shaft to the engineer who made it; it is clear that this would be quite consistent with the above circumstances, and yet the unreasonable delay in the delivery would have no effect upon the intermediate profits of the mill. Or, again, suppose that, at the time of the delivery to the carrier, the machinery of the mill had been in other respects defective, then, also, the same results would follow. Here it is true that the shaft was actually sent back to serve as a model for a new one, and that the want of a new one was the only cause of the stoppage of the mill, and that the loss of profits really arose from not sending down the new shaft in proper time, and that this arose from the delay in delivering the broken one to serve as a model. But it is obvious that, in the great multitude of cases of millers sending off broken shafts to third person by a carrier under ordinary circumstances, such consequences would not, in all probability, have occurred; and these special circumstances were here never communicated by the plaintiffs to the defendants. It follows, therefore, that the loss of profits here cannot reasonably be considered such a consequence of the breach of contract as could have been fairly and reasonably contemplated by both parties when they made this contract.

※問題Ⅳの解答例は省略いたします。

以上